

基礎自治体職員向け 在宅避難チェックポイント

災害時の「公助」を必要とする被災者の確認と
被災者に対する「公助」のヌケ・モレ・オチ防止確認と
災害時の「公助」が必要なくなる「脱・被災者」(ゴール地点)を把握するためのチェックポイント

〔制作〕

大阪大学人間科学研究科
教授 稲場圭信
一般社団法人地域情報共創センター
代表理事 小島誠一郎

○身の危険に関するチェック

- 建物(避難している場所)の安全性が確保されているか？
- 二次被害の危険性ないか？(余震での倒壊、水土砂災害の危険、津波の危険、等)
- 避難指示等の情報が出されている地域ではないか？

○安否に関するチェック

- 在宅避難していることを、市役所・町役場・近隣避難所等、公的機関に把握頂いているか？
- 家族、親族、友人・知人等、同居していない関係者に、在宅避難していることを把握頂いているか？

○公助(主に福祉的)に関するチェック

- 自力調達が難しいものは、市役所・町役場や、避難所に伝え、調達することができているか？
- 避難所をお願いしたが、「避難所に避難していない」ことを理由に、支援対象者から外されたことはないか？

○生活の維持に関するチェック

- 電気は使える？(どこからの電気？発電機の場合燃料は？)
- 上水道は使える？(飲料水として)
- 生活用水の確保はできている？(上水道、井戸水、給水車、等)
- 下水道 or 浄化槽は使える？
- トイレは使える？(使えなくなったときの手は用意されている？)
- ガス(都市ガス or LPG)は使える？
- 衛生管理(食べ物の保管、洗濯、フロ、等)はできている？
- 食事や食材、調味料等の調達と保管はできている？
- 食事をするために必要な調理器具等の調達はできている？

- 冬場の暖房と、夏場の冷房はとれる？
- 移動のための手段と燃料調達はできている？
- 健康管理はできている？(通院は？薬の調達方法や残量は？)
- (要配慮者の場合)支援者との連絡・連携はとれている？

○情報確保に関するチェック

- テレビ(ワンセグ、CATV 含む)やラジオは使える？
- 携帯やスマートフォンは使える？
- インターネット接続はできる？
- 市役所・町役場からの緊急情報は届く？(一斉同報型防災行政無線、防災行政無線戸別受信機、コミュニティFM、市役所・町役場が行う情報アプリやメールサービス、等々)

○公的避難所に居ないことへの不安解消に関するチェック

- 避難所に居る人と同じ情報を受け取れている？
- 市役所・町役場が行う、各種災害後に必要となる手続き(り災証明、被災証明、義援金、災害弔慰金、等々)に関する情報が遅滞なく受け取れる？
- 生活に関する復興情報(水道回復、下水道回復、都市ガス回復、電気回復、携帯電話回復、主要道・生活道路通行情報、買い物をする拠点、被災者向けサービスを行っている施設情報、等々)が遅滞なく受け取れる？
- 困ったことや、相談事(軽微な相談含む)をする先はある？

○生活再建に関するチェック

- 今後、生活再建をするための方針は決めている？
- 相談をする先について、心当たりはある？
- 生活再建について、相談したいことはある？

○その他、困ったことチェック

- その他、困ったことや相談したいことはある？

【行政内部での確認・検証用】

- この方は、市町が作成している、被災者台帳に掲載されているか？
- 行政として継続ケア(公助)が必要か？必要だとしたら、どのようなケアが必要か？
- この方にとっての、「脱・被災者」となるためのゴールは何か？